

事業者向け

放課後等デイサービス
自己評価表

実施日 令和6年11月

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	未回答	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	5	4		狭い。日による。 活動時間やスタッフ数にもよるが利用者の多い日は部屋を分けて活動している。 ⇒令和7年度に新規利用児を多く受け入れた事により、狭く感じる事がある。
	2	職員の配置数は適切であるか	1	7	7		・不足・日による。 ・休みが重なると厳しい日がある。 ・入浴支援に人が抜けると大変。 ⇒人員配置基準、加配加算の人数は満たしていないが、新規利用児を多く受け入れた事により不足感がある。R6.4に1名増員し、さらに職員募集を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	6			・部屋の入り口が狭い所がある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8	6			・情報共有はしているが、不十分な点もある。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	4			・保護者会、面談、自己評価等で頂いた意見を参考に業務改善を図っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	11	4			・実施している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	8	1		・第三者評価は実施していないので、職員への周知が不足している。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	13	2			・研修が活かせていない。 ・研修の情報の調べ方が分からない職員もいる。 ⇒研修で学んだ内容をどう活かすか、職員会議等で話し合いながら実践し、評価しながら進めている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	5			面談等で意見を聞き取っている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	7	1		標準化されたアセスメントシートを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	6			フロア等運営職員を中心に活動プログラムを立案。行事等では担当職員を決めて色々な職員が活動プログラムに関わるようにしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11	3			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	11	3			活動時間の長短に応じて活動内容を決めている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	4			・時間的な事もあるが、出来ている方と出来ていない方がいる。

関係機関や保護者との連携	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11	3		・行っている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	12	2		・非常勤の方からの情報が少ない。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11	4		・情報共有シートを使用している。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	7		
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	8	6		・行っている。
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	5	1	・行っている。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	11	3		・学校からの情報共有は少なすぎる。保護者を通してとなっているのでしょうか、対応が悪い。(任せ過ぎでは?)
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	11	3		
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	9	4		児童発達支援からの情報共有や、支援時のフォローあり。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7	6		・必要時に行っている。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	6		・必要時に行っている。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	8	5	・把握していない。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	8	2	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	3		・面談等で細かくやりとりを行うとともに、必要時子どもの状況について話をしている。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	7	2	・把握していない。
保護者への説明	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	4		・契約時、契約書別紙の書面にて。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	5		・看護師、リハ職員などの専門職から必要時に助言を行っている。

責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	5	1		保護者や兄弟児が一緒に参加できる行事を多く開催している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	3			
非常時等の対応	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	14				毎月施設通信を発行し、活動の見える化を図っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	14	1			行っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	13	1			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	4	6		
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	11	4			・緊急時・防犯マニュアルの周知が足りない。
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	12	3			義務化された回数以上の避難訓練は実施している。(年3, 4回)
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	13	2			外部研修への参加。 チェックリストを用いた支援の見直し(年3回)。 法人全体での研修(年1回)
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	13	2			行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	12	3			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12	2	1		・時と場合によりけり・ヒヤリハットの数が少なすぎる。 もっと出しやすくする工夫が必要。